

第1学年 理科 学習指導案

日 時 2025 年 6 月 2 5 日 (水)

第 5 校時 13:30～14:20

対 象 第 1 学 年 D 組 3 1 名

会 場 1 年 D 組 教 室

1 単元名

植物の体の共通点と相違点……「自然の探求 中学校理科 1」教育出版







2 単元の目標



- ・ いろいろな植物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けること。
- ・ 植物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、いろいろな植物の共通点や相違点から植物を分類するための観点や基準を見いだして表現すること。
- ・ 植物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する態度を養うこと。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① いろいろな植物の共通点と相違点に着目しながら、植物の体の共通点と相違点についての基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	① 植物の体の共通点と相違点についての観察、実験などを通して、いろいろな植物の共通点や相違点を見いだすとともに、いろいろな植物の共通点や相違点から植物を分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。	① 植物の体の共通点と相違点に関する事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

4 単元指導計画（全 8 時間扱い）

時	目 標	学習内容・学習活動	評 価
1 	花のつくりを理解する。	花のつくりには、どのような共通点があるのか調べる。	花を解剖し、特徴を記録することができる。 ア-①【ワークシート】
2 	花のつくりの規則性や共通点と相違点を見いだす。	花のつくりの規則性や共通点と相違点をまとめる。	観察記録にもとづいて、花のつくりの規則性や共通点と相違点を見いだすことができる。イ-①【ワークシート】
3 	花粉の運ばれ方を花のつくりの関係を見いだす。	花粉の運ばれ方を花のつくりの関係を調べる。	花のつくりと花粉の運ばれ方の関係を見いだすことができる。イ-①【ワークシート】
4 	植物を葉脈や根の特徴を理解する。	植物を葉脈や根で分類するには、どのような特徴に注目するとよいのか調べる。	単子葉類と双子葉類の特徴の違いを理解している。 ア-①【ワークシート・小テスト】
5 	裸子植物の花は、被子植物の花とどのような共通点と相違点を理解する。	裸子植物の花は、被子植物の花とどのような共通点や相違点があるか調べる。	被子植物と裸子植物の特徴の共通点と相違点を理解している。ア-①【ワークシート・小テスト】
6 	シダ植物・コケ植物のからだのつくりとふえ方の特徴を理解する。	シダ植物・コケ植物のからだのつくりとふえ方には、どのような特徴があるか調べる。	シダ植物やコケ植物は胞子で殖えることを理解している。 ア-①【ワークシート・小テスト】

7 	植物の特徴を図や表にまとめることができることを見いだす。	植物の特徴を図や表にまとめて、植物を分類する。	これまでの学習をもとに植物の検索表を表現することができる。イ-①【ワークシート】
8 本時 	植物の分類について、学習したことを活用し、身近な植物について特徴を調べ、まとめる。	身近な植物の特徴を調べ、まとめる。	これまでの学習をもとに、身近な植物の特徴を進んで調べ、まとめることができる。ウ-①【ワークシート】

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）



○課題設定や振り返りの場面などにおいて、選択する機会の充実をさせる。

課題設定の場面：学校給食の献立の中から自分の興味のある植物を生徒に選択させる課題設定を行う。生徒にとっては身近な給食の献立の中から、自分の興味のある植物を選択することで、主体的に学習に取り組むことができる。



振り返りの場面：まとめる形態を紙面かタブレット端末かを生徒に選択させる。個人が取り組みやすい振り返りの仕方を行うことで、生徒の考えたことや感じたことを書きやすい方法で記録することができる。

6 本時の指導（全8時間中の8時間目）

（1）本時の目標

- ・ これまでの学習をもとに、身近な植物の特徴を進んで調べ、まとめる。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 (10分)	○これまでの学習の振り返りを行う。	<input type="checkbox"/> キュビナを用いてこれまでの学習の振り返りを行う。 <input type="checkbox"/> 生物名はカタカナで表記することを確認する。 <input type="checkbox"/> 分類名も確認する。
展開 (35分)	◎自分の興味のある植物を選び、特徴を調べ、まとめる。  ①5月給食献立表の中から自分の興味のある植物を選ぶ。 ②タブレット端末を用いて、植物の特徴を調べる。 ③タブレット端末上または紙面で特徴をまとめる。  ④提出する。 ①～④を繰り返す。	<input type="checkbox"/> 「かんきつ」など具体的な植物名でないものは調べさせない。 <input type="checkbox"/> 菌類や藻類を調べている生徒には植物でないことを伝えつつ、生徒の興味・関心を生かす授業展開を行うため、調べることを続行して良いことを周知する。 <input type="checkbox"/> 共通して記述する項目を明示する。（花の様子や葉脈、根のつくり、果実の様子） <input type="checkbox"/> 画像や分類が調べても出てこないときはそれ以外の特徴から体の特徴や分類を予想させる。 <input type="checkbox"/> 調べたことと予想は区別させる。 ◆ウ-①【ワークシート】 <input type="checkbox"/> 調べ学習は2回～3回程度繰り返させる。
まとめ (5分)	○本時の学習の振り返りを行う。	<input type="checkbox"/> 身近な植物を調べて、気が付いた点や気になった点を記述させる。 <input type="checkbox"/> 提出されたワークシートは教室掲示することを周知する。タブレット端末を用いて特徴をまとめた生徒については、印刷して掲示する。